

アハウス山科

だより

2026

6

Vol.328



「協調と和」そして「コミュニケーション」を大切にしながら
日々の生活に潤いあるサービスをサポートします

- ◆6/2（火）『避難訓練』
- ◆6/28（日）『誕生者を祝う会』
- ◆6/23（火）～6/26（金）
業者による、共用廊下のワックスがけ、
居室窓・網戸の清掃



- ◆7/21（火）『居室大掃除』
衛生点検日までに清掃をお願いします。
- ◆7/22（水）『居室衛生点検』
居室水回りやトイレの点検など。また、
冷蔵庫内（賞味期限切れの品と食堂から
の持ち帰り品の有無）の点検。
- ◆7/28（火）『運営懇談会』（4階入居者）
- ◆7月『誕生者を祝う会』

施設からのお知らせ

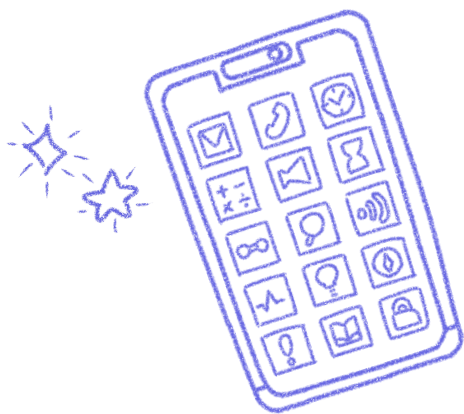
- ◆収入調査へのご協力、ありがとうございました。
- ◆居室大清掃／衛生点検日までに清掃をお願いします。その際、ご家族様による清掃のお手伝いについて居室への入室は可能となっております。掃除の際に発生したゴミについては、小袋に入れるなど、入居者様のゴミの捨て方と同様にお願いします。入居者様へのご支援とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。
- ◆7月『運営懇談会』を行います。当日参加者は4階の入居者様となっております。すべての入居者様を対象とした【事前アンケート】へのご協力をお願いします。
- ◆6/2（火）『消防避難訓練』を行いました。今回は夜間を想定した訓練内容でした。当日は台風6号の影響により、避難の方法等は通常とは異なる内容とはなりましたが、入居者の皆様は全館放送をしっかりと聞き、慌てず避難行動をとっておられました。災害時は「パニック防止」と「冷静な行動」、そしてお互い助け合う「共助」という考え方が不可欠です。日頃からの“意識”と“備え”を改めてお願いします。

夏の食事イベント

春にもご好評いただいた食事イベントを夏にも実施！
いつもとは一味違う食事を通した『夏の食事イベント』を予定しています。

詳細は決定次第お知らせいたします。お楽しみに♪

『いつもとはちょっと違った贅沢を…』



SNSで魅力発信中！
ぜひ覗いてみてください



公式LINE



Instagram



ホームページ

決算のご報告

社会福祉法人 協和福祉会 ケアハウス山科 令和7年度決算報告書

(自)令和7年4月1日 (至)令和8年3月31日

資金収支計算書

(単位 円)

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	老人福祉事業収入 98,751,385
		受取利息配当金収入 128,091
		その他の収入 516,503
		事業活動収入計(1) 99,395,979
	支出	人件費支出 53,264,413
		事業費支出 28,942,650
		事務費支出 12,761,682
		事業活動支出計(2) 94,968,745
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2) 4,427,234
施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計(4) 0
	支出	ファイナンスリース債務の返済支出 894,768
		施設整備等支出計(5) 894,768
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5) △ 894,768
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入 8,071,076
		その他の活動による収入 1,600,000
		その他の活動収入計(7) 9,671,076
	支出	積立資産支出 7,878,914
		その他の活動による支出 1,800,000
		その他の活動支出計(8) 9,678,914
予備費支出(10)		0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)		3,524,628
前期末支払資金残高(12)		39,285,388
当期末支払資金残高(11)+(12)		42,810,016

事業活動収支計算書

(単位 円)

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	収益	老人福祉事業収益 98,751,385
		サービス活動収益計(1) 98,751,385
	費用	人件費 55,599,898
		事業費 28,942,650
		事務費 12,761,682
		減価償却費 19,013,447
		国庫補助金等特別積立金取崩額 △ 10,452,575
		サービス活動費用計(2) 105,865,102
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2) △ 7,113,717
サービス活動増減の部	収益	受取利息配当金収益 128,091
		その他サービス活動外収益 516,503
		サービス活動外収益計(4) 644,594
	費用	サービス活動外費用計(5) 0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		644,594
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△ 6,469,123
特別増減の部	収益	その他の特別収益 2,497,036
		特別収益計(8) 2,497,036
	費用	固定資産売却損・処分損 5
		特別費用計(9) 5
特別増減差額(10)=(8)-(9)		2,497,031
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 3,972,092
繰越活動増減の部	繰越	前期繰越活動増減差額(12) 94,525,039
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12) 90,552,947
		基本金取崩額(14) 0
		その他の積立金取崩額(15) 0
		その他の積立金積立額(16) 7,838
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		90,545,109

貸借対照表 令和8年 3月 31日 現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
流動資産	51,956,098	流動負債	12,376,335
現金預金	50,234,261	事業未払金	5,735,857
未収金	34,526	1年以内返済予定リース債務	894,768
未収補助金	470,392	預り金	△ 633,005
前払金	1,216,919	前受金	3,840,230
		前受収益	3,000
		仮受金	200,000
		賞与引当金	2,335,485
固定資産	473,633,641	固定負債	12,418,384
基本財産	356,866,739	リース債務	2,679,836
土地	127,015,000	長期預り金	9,738,548
建物	203,702,552	負債の部合計	24,794,719
建物附属設備	26,149,187	純資産の部	
その他の固定資産	116,766,902	基本金	168,361,887
建物附属設備	4,057,488	第1号基本金	127,015,000
構築物	1,417,277	第3号基本金	41,346,887
車両運搬具	2	国庫補助金等特別積立金	145,609,110
器具及び備品	880,511	その他の積立金	96,278,914
有形リース資産	3,539,204	人件費積立金	6,278,914
権利	577,920	施設・設備整備積立金	90,000,000
ソフトウェア	258,500	次期繰越活動増減差額	90,545,109
絵画	8	(うち当期活動増減差額)	△ 3,972,092
長期預り金預金	9,738,548		
人件費積立預金	6,278,914	純資産の部合計	500,795,020
施設・整備等積立預金	90,000,000	負債及び純資産の部合計	525,589,739
差入保証金	18,530		
資産の部合計	525,589,739		

皆様こんにちは。厨房職員です。

先日、金沢へ旅行に行った際「忍者寺」の愛称で知られる妙立寺を見学してきました。名前を聞くと忍者屋敷を想像しますが実際はお寺です。万一敵が攻めてきた際に藩主を守るため、建物の中には隠し階段や隠し部屋、仕掛け扉など様々な工夫が施されています。まるで迷路のようで「よくこんな複雑な建物を考えたものだな」と感心するばかり。ところが、これほどまでに敵の侵入に備えた仕掛けを作っていたにもかかわらず、金沢の町が大きな戦場になることはなかったそうです。つまり、隠し階段や秘密の通路は、結局ほとんど出番がなかったということになります。もちろん平和だったことは喜ばしいことですが、「これだけ頑張って作ったのに一度も本番がなかったのか…」と少し気の毒な気持ちにもなりました。備えがあったからこそ、争いを防いだのかもしれない。

これは私たちの身近な防災にも通じるように感じました。施設でも避難訓練や防災訓練を行っていますが、実際には訓練した内容を使う機会がないことが一番です。それでも、いざという時に備えて準備をしておくことはとても大切だと思います。

当時の敵の侵入を防ぐための**“備え”**から、現在の災害への**“備え”**を考える…

そんな不思議な縁を感じた金沢旅行でした。

コラム



日々是好日

緊急時に備えるという意識 ～夜間救急搬送を経験して～

5月某日、深夜3時15分。スマホの着信音で目が覚めました。

—— 父親が自宅で転倒し、救急搬送をしている ——

職業柄、救急搬送というものは理解しているつもりでしたし、一人暮らしをしている父親とは、緊急時の対応についてよく会話をしていました。

ですが、予期せぬ夜中の連絡に、正直少し動揺してしまいました。

搬送時にまず言われたことは、「〇〇病院に搬送」「何時頃に病院に到着しますか」ということ。整容もせぬまま直ちに病院へ。救急治療室のベッドで横になっている父。担当医から簡単な状況説明を受けた後、「会話や表情から普段と違いがあるか確認してください」と指示。幸い父は意識もあり、医師の指示の通り確認作業を行いました。

救急搬送は様々な理由により突然やってきます。そのような中で大切なことは、**“いざという時のために備える”**ということ。緊急時に必要となる保険証や緊急連絡先を記載した手描きのノート、父とは日頃から話し合っひとつのバッグに入れて準備し、それを一目でわかるようなところに置いていました。今回、意識がもうろうとしている状態でも、迅速に連絡がとれたことにつながったはず。また、ドクターの言葉の“普段との違い”。これは、日頃から家族様が入居者と**“顔を合わせて会話する”**ことでのみ確認できることではないでしょうか？一刻を争う緊急時において、平時の“備え”は必要だと思います。

——大切な命を守るために。——